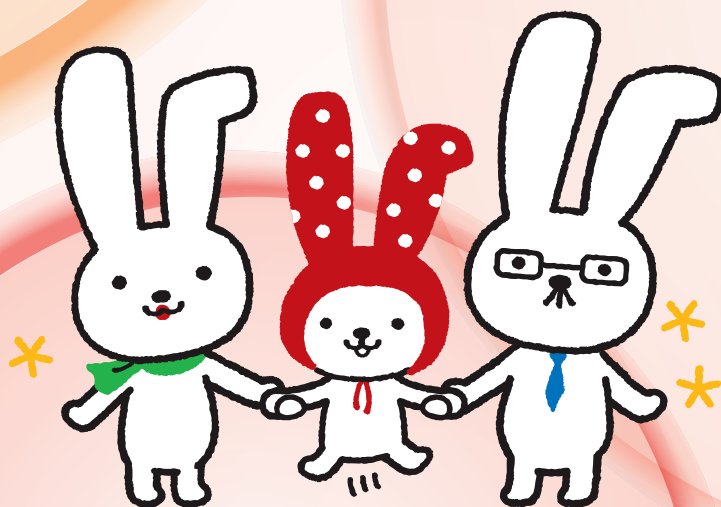


# AKITA BANK REPORT 2024

秋田銀行ミニディスクロージャー誌

2024年3月期 | 営業のご報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで





経営理念

# 地域共栄

地域とともに歩み、地域の発展とともに栄える

行訓

1. 自らにきびしく 他には思いやりの深い  
すぐれた人間をつくること
2. 内に和を守り 外に信用を固めて  
明るく健全な職場をつくること
3. 常に将来のことを考え  
絶えず現状の改善を図って  
ともに繁栄する地域社会をつくること

(1969年制定)

<あきぎん>の概要

(2024年3月31日現在)

名称	株式会社 秋田銀行 The Akita Bank, Ltd.
本店所在地	秋田県秋田市山王三丁目2番1号
創業	明治12年(1879年)1月
預金・譲渡性預金	3兆1,836億円
貸出金	1兆9,973億円
資本金	141億円
発行済株式数	18,093千株
自己資本比率	11.21%(国内基準)
長期格付	A+(JCR)
従業員数	1,214名
店舗数	本支店・出張所98か店
現金自動設備 (CD・ATM)	228か所 (店舗内77、店舗外出張所151)
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード8343)

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、当行に対するご理解を一層深めていただくため、「ミニディスクロージャー誌 AKITA BANK REPORT」を作成いたしました。本誌では、2024年3月期の業績、当行の経営方針、地域やお客さま向けの取組みなどについてご紹介しております。ご覧のうえ、ご参考にいただければ幸いです。

当行グループでは、2030年を展望する秋田銀行グループVISION『価値をつくる。未来へつなぐ。』を掲げ、2022年度から第1フェーズとなる3年間の中期経営計画に取り組んでおります。この計画では、既存事業の深掘りにより経営基盤の強化をはかる「基盤強化戦略」、地域の課題解決を通じて新たな価値を創出する「地域価値共創戦略」、この2つの戦略の推進力を強化する「組織・人財戦略」を進めてきております。

基盤強化戦略では、お客さまにとって価値のある営業活動の最大化に向けて、営業体制の整備・強化、事務レスによる業務効率の向上、人材育成の強化を並行して進め、これらの取組みの結果、経営目標のひとつとして掲げる本業利益(お客さまサービス等利益)は計画を上回って改善が進んでおります。また、地域価値共創戦略では、人口減少にともない顕在化する地域課題への対応として、事業承継・M&A支援事業や人材支援事業を拡大してきているほか、地域のブランド価値向上に向けた地域商社事業も領域や取組みの幅を広げてきております。さらに組織・人財戦略では、研修や企業内大学カリキュラムを拡充するなど人的資本投資を拡大しているほか、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンへの取組みを強化し、監督職層に占める女性職員の割合が30%を超えるなど前進が見られました。

引き続き、中期経営計画に基づく諸施策の実行を通じて、地域やお客さまにとっての価値創造を推進していくとともに、当行グループの企業価値向上へ取り組んでまいります。役職員一同努力してまいりますので、皆さまには、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役頭取

芦田 晃輔



Contents

<あきぎん>の概要	01	基盤強化戦略	05	財務ハイライト	09-12
トップメッセージ	02	地域価値共創戦略	06	株式インフォメーション	13
秋田銀行グループVISIONの 目指す姿	03-04	組織・人財戦略	07	店舗ネットワーク	14
		サステナビリティへの取組み	08		

2030年を展望する秋田銀行グループVISION『価値をつくる。未来へつなぐ。』を定め、この目指す姿を実現する第1フェーズとして、2022年度から3年間を計画期間とする中期経営計画を策定しています。

## 秋田銀行グループVISION

### 中長期的に目指す姿

地域経済の質を高めるとともに、  
住みよい地域社会を創造し、  
成長し続ける銀行

### 2030年を展望するグループVISION

## 価値をつくる。未来へつなぐ。

地域の課題を解決し、お客さまのニーズに応える  
質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、  
将来にわたる豊かな地域の実現にチャレンジし続けます

## 中期経営計画

**価値共創**  
2019～2021年度

- 地域経済の成長、地域課題の解決
- 地域および当行の持続可能性の向上

↓

地域、お客さまの課題解決を  
コアコンピタンスに

**中期経営計画**  
第1フェーズ 2022～2024年度

秋田銀行グループVISIONの実現に向けた基盤と機能を強化する3年間

**基本戦略**

- 既存事業の徹底した深掘りによる経営基盤の強化（本業利益の改善）
- 地域価値共創事業の拡大による地域の成長促進機能の構築（新たな収益基盤の確立）

↓

持続可能なビジネスモデルを確立

2030

秋田銀行グループVISION  
に向けフェーズチェンジ

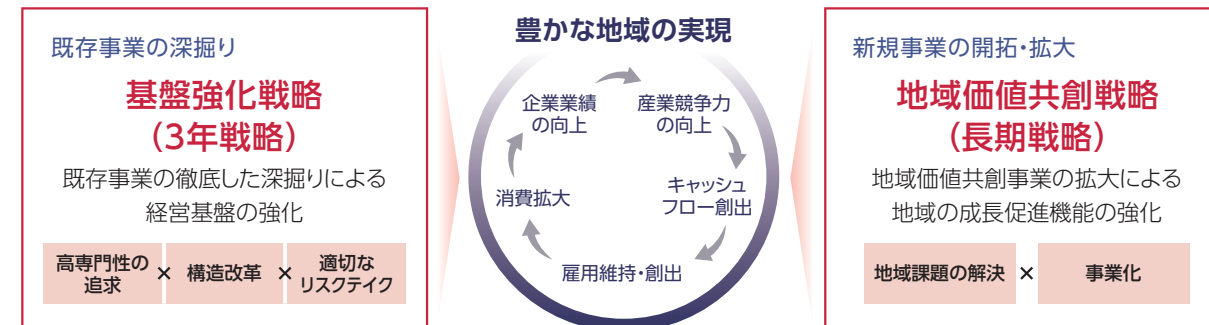
新たな成長戦略/  
ビジネスモデルの進化

2021

2024

## 第1フェーズ中期経営計画(2022～2024年度)

### ■基本戦略



戦略を支える推進力

**組織・人財戦略**  
(長期戦略)

人財価値の向上による事業戦略を力強く推進する組織の構築

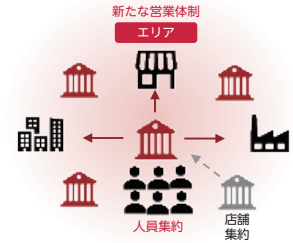
人財価値の最大化 × 成長・活躍のフィールド × 働きがい・エンゲージメント向上

### ■計画最終年度(2024年度)に目標とする経営指標と実績

項目	2023年度(実績)	2024年度(目標)
当期純利益	45億円	50億円以上
○HR (コア業務粗利益ベース)	74.96%	70.0%未満
自己資本比率	11.21%	10.0%以上

### お客さまの課題解決に向けた営業体制の改革

2023年7月より、地区中核店舗へ「法人営業課」、「個人営業課」を設置し、法人・個人担当者を集約する営業体制を開始しました。効率化による営業活動量の増加をはかるとともに、お客さま情報と担当者のノウハウを集約することで、コンサルティング提案のさらなる高度化をはかってまいります。



### お客さま理解に基づくコンサルティング機能の発揮

お客さまの経営課題をしっかりと把握・理解のうえ、当行グループが一体となって課題解決をはかるため「営業店・本部ミーティング」を定期的で開催しています。生産性向上や販路拡大の支援など、お客さまにとって付加価値の高いサービスの提供を通じて、お客さまの企業価値向上に取り組んでまいります。



営業店・本部ミーティング

### 新NISA制度の活用に向けた資産づくりのご支援

2024年にスタートした「新NISA制度」を中心としたお客さまの資産づくりをサポートするため、資産形成や運用に関するセミナー開催などの情報提供の拡充をはかっています。2024年2月には、レオス・キャピタルワークス株式会社代表取締役会長兼社長 ひふみシリーズ最高投資責任者の藤野 英人氏を講師に迎え、お客さま向け資産運用セミナーを開催しました。



藤野 英人氏による資産運用セミナー

### お客さまのライフイベントに応じた最適な商品・サービスの提供

2024年1月、ローンにとどまらない家づくりのトータルサポートを行う「〈あきぎん〉家づくり相談プラザ」を本店ローンプラザ・保険プラザ内に開設しました。当行の住宅アドバイザーが資金計画のご相談をはじめ、デザイン・間取り・機能などの情報提供やご希望に応じて住宅業者の紹介も行い、お客さまの「後悔のない家づくり」の実現を後押ししています。今後もお客さま一人ひとりのライフイベントに応じた最適な商品・サービスを提供してまいります。



新設した「〈あきぎん〉家づくり相談プラザ」

### 地域産業の維持と新たな担い手の創出

地域の産業や雇用の維持、地域経済の活力向上に向けて、後継者不足・不在への対応とともに、新たな担い手の創出や事業の成長に向けた取組みを強化しています。2023年7月には、当行が100%出資する投資専門子会社「株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ」を設立し、同年8月、総額10億円の「あきぎんNEXTファンド」を組成しました。本ファンドを通じて、ベンチャー企業や事業承継に課題を抱える企業に対し、柔軟な資金供給や経営支援を積極的に行ってまいります。



水田転作にてタマネギの産地化を進めるファンドの出資先「双日由利農人株式会社」

### 地域の人材に関する課題への対応

当行では、企業の人材に関する課題に幅広く対応する取組みを進めており、従来から注力してきた人材採用ニーズへの対応に加え、企業の人材育成をサポートする「社員研修サービス」を開始しました。講師は当行職員が務め、対象企業それぞれのご要望に応じた研修の提供を通じて、人材の定着や成長を後押ししてまいります。



当行職員が講師を務める社員研修サービス

### 秋田のブランド価値向上に向けて

当行グループの地域商社「詩の国秋田」では、地域産品の首都圏、海外への販路拡大やブランディングなどに積極的に取り組んでいます。2023年度は、当社が現地拠点を置く台湾との取引拡大に向けて、台湾の輸入業者を定期的に招いて秋田牛や県産農作物の産地視察を開催したほか、県内産「シャインマスカット」の台湾への輸出を初めて実現しました。



台湾の輸入業者による「秋田牛」生産現場の視察

### 長生きによる活力の創造

当行の独自コンセプトとして、誰もが“生き生き”と元気に活躍する「長生き」を掲げ、活力ある地域づくりに向けて「長生きプロジェクト」を推進しています。この一環として運営する「長生き学校」では、コロナ禍により休止していた秋の学校祭を4年ぶりに開催したほか、起業家の方を講師に迎え、「地域に芽吹く新たな価値づくり～知って学んで応援しよう～」をテーマとした授業を県内各地で開催しました。



大館市で開催した曲げわっぱの新たな魅力を知る授業

### 職員の働きがい・エンゲージメント向上に向けて

職員の働きがいやエンゲージメントの向上に向けて、上司と部下が定期的に対話を重ねる「1 on 1 ミーティング」を導入しました。職員の自律的な成長を促進するとともに、多様性への理解を深め、互いに思いやる意識の醸成をはかり、一人ひとりが成長・活躍し続けられる組織づくりに取り組んでいます。



上司と部下が定期的に対話を重ねる「1 on 1 ミーティング」

### 行内研修・自己啓発の支援

職員の成長に向けて行内外の研修を充実させているほか、オンライン学習ツール「e-JINZA」のコンテンツ拡充により自己啓発を積極的に支援しています。また、企業内大学「あきぎん如学カレッジ」を通じて、より高度で専門性の高い知識やスキルの習得を促進しており、2023年度は、「コンサルティング/知的財産経営/F P 実践/DX 支援基礎」の4コースで67名が学びました。



あきぎん如学カレッジ「知的財産経営コース」の講義

### 女性活躍を後押しする取組み

当行では、女性職員の活躍やキャリア形成を後押しするための取組みを進めています。2023年度は、将来幹部を担うことが期待される女性職員が、マネジメントやリーダーシップについて理解を深める「ウイメンズリーダー育成研修会」を実施したほか、若手女性職員に対して、自由な意見交換や先輩職員との交流を通じて自律的なキャリア形成への意識向上を促すワークショップ「Chatomo (チャットモ)」を開催しました。



ウイメンズリーダー育成研修会

### 多様な考えを経営施策へ反映

すべての職員を対象に、当行グループVISIONの実現に向けた新たな成長事業やビジネスアイデアを募る「“価値をつくる。未来へつなぐ”アイデアコンテスト」を2022年度より実施しています。全行から累計51件の応募があり、そのうち優れたアイデアを表彰するとともに、経営施策への活用を進めています。



アイデアコンテストでのプレゼン

### 秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針

地域の持続的な成長の実現および当行グループの企業価値向上に向けた取組みをより一層推進するため、「秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針」を制定しています。

秋田銀行グループ サステナビリティ経営方針

秋田銀行グループは、「地域共栄」の経営理念のもと、地域課題の解決および環境課題への対応、お客さまのニーズに応える質の高い金融・非金融サービスの提供を通じて、将来にわたる豊かな地域を実現するとともに、当行グループの持続的な成長・企業価値向上を実現し、地域から必要とされる金融グループになることを目指します。

### 気候変動への対応

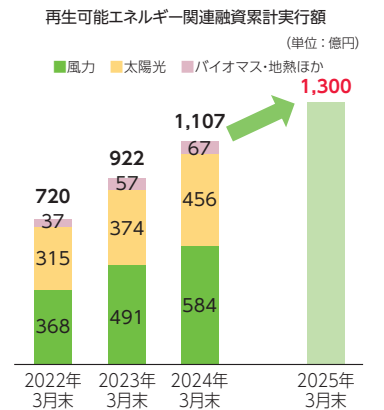
地域のカーボンニュートラル実現に向けて、外部機関との連携強化や環境に配慮した新商品・新サービスの導入を進めています。2024年2月には、大仙市、丸紅株式会社と「市有林を活用したJ-クレジット創出に関する連携協定」を締結し、秋田県の豊かな森林資源をJ-クレジットの活用を通じて維持・管理していく取組みを進めました。また、家庭における脱炭素を促進するため、「ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) 住宅ローン」や「エコカーローン」の取扱いを開始しました。  
※ J-クレジット：森林が吸収する二酸化炭素量などを「クレジット」として販売すること。



大仙市・丸紅株式会社との協定締結式

### 再生可能エネルギー分野への取組み

脱炭素社会への移行にあわせて、世界各地で再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組みが進められています。こうしたなか、秋田県は良好な風況を背景に、陸上・洋上風力発電など再生可能エネルギーにおける新たな電源地としての存在感を高めています。当行では、再生可能エネルギー分野への取組みを一段と強化しており、2023年度に実施された政府の洋上風力公募事業に対し、選定事業者への出資等を通じて参画しています。また、再生可能エネルギー関連融資を積極的に推進しており、2024年度末までにその累計実行額を1,300億円とする目標を掲げています。



# 財務ハイライト

## 収益の状況

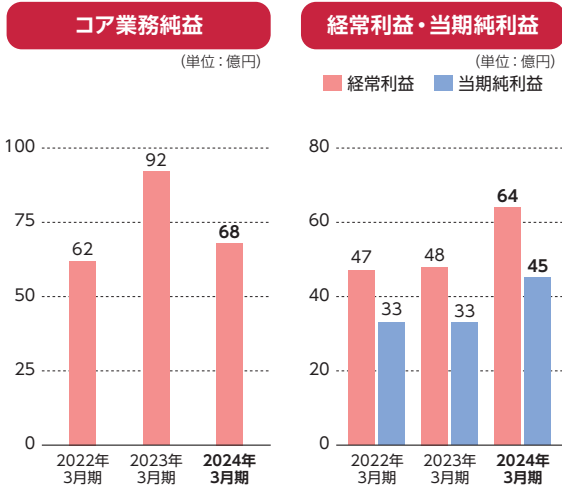
コア業務純益<sup>(※)</sup>は、有価証券利息の減少による資金利益の減少により、前年同期比24億円減少の**68億円**となりました。

株式等売却益の減少により株式等関係損益は悪化したものの、国債等債券売却損・償還損の減少により国債等債券損益が好転したことにより経常利益は16億円増加の**64億円**となり、当期純利益は12億円増加の**45億円**となりました。

**用語解説**

**※「コア業務純益」**

銀行本来の業務(預金、貸出、為替、有価証券など)から得られた利益である「業務純益」から、期ごとに特殊な要因で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたもので、「銀行の基本的な利益」を示します。



## 自己資本比率<sup>(※)</sup>の状況

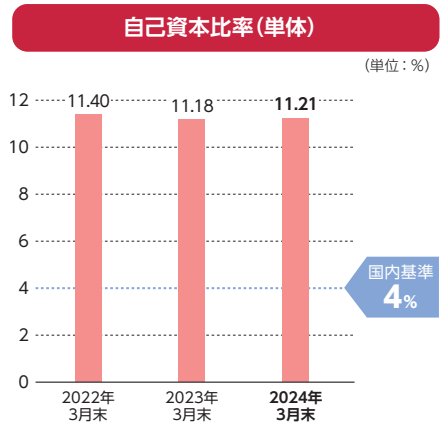
2024年3月末の自己資本比率は、分母であるリスク・アセットは貸出金の増加を主因に増加しましたが、分子である自己資本は利益の積上げにより増加したことから、前年同期末比0.03ポイント上昇し**11.21%**となりました。

引き続き国内基準行に求められる4%を大きく上回る水準を維持しております。

**用語解説**

**※「自己資本比率」**

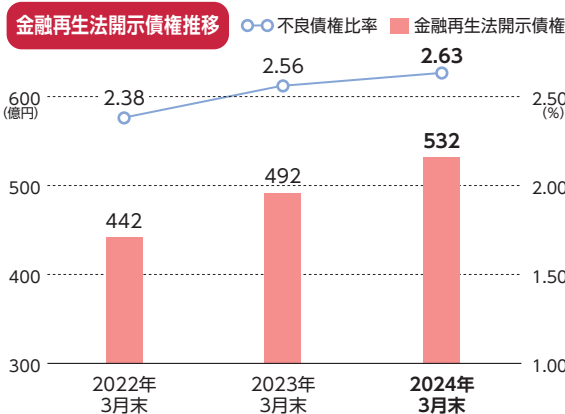
貸出金などの資産(リスク・アセット)に対する自己資本の割合で、銀行の健全性を示す指標のひとつです。海外に営業拠点を有する銀行は国際統一基準で8%以上、海外に営業拠点を持たない銀行(当行)は国内基準で4%以上を維持することが求められています。



## 不良債権の状況

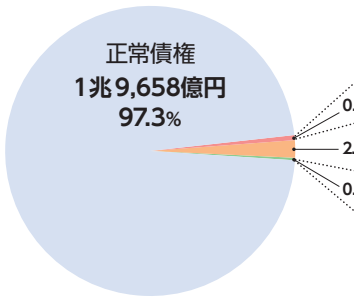
2024年3月末の不良債権(金融再生法開示債権ベース)は、前年同期末比40億円増加し、**532億円**となりました。

この不良債権が将来回収不能となった場合の備えである保全額(貸倒引当金、担保・保証)は445億円、保全率は83.61%と高く、貸出等資産の健全性維持に努めております。



## 金融再生法開示債権の状況

(2024年3月末現在)



### 金融再生法開示債権に対する保全の状況

(単位: 億円)

区分	残高 (A)	保全 (B)+(C)=(D)		保全率 (%)
		担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権 <sup>(※1)</sup>	70	22	47	100.00
危険債権 <sup>(※2)</sup>	428	323	49	86.80
要管理債権 <sup>(※3)</sup>	35	2	2	11.52
合計	533	347	98	83.61

(注) 1 単位未満四捨五入  
2 保全率=(D)÷(A)×100

**用語解説**

**※1「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」**

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申し立て等の事由により、経営破綻に陥っているお取引先に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

**※2「危険債権」**

お取引先の財政状態および経営成績が悪化し、契約にしがった債権の元本回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

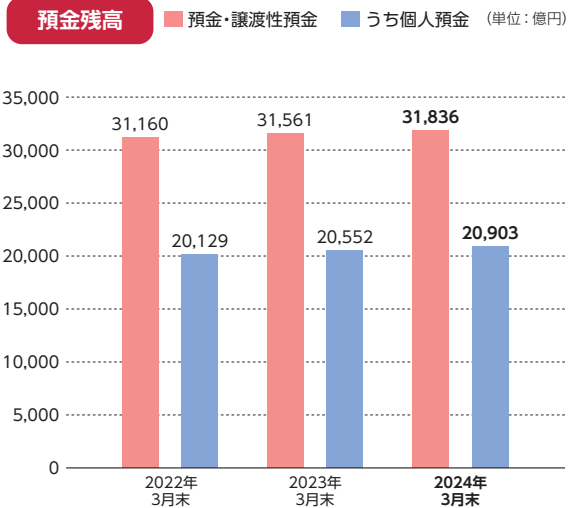
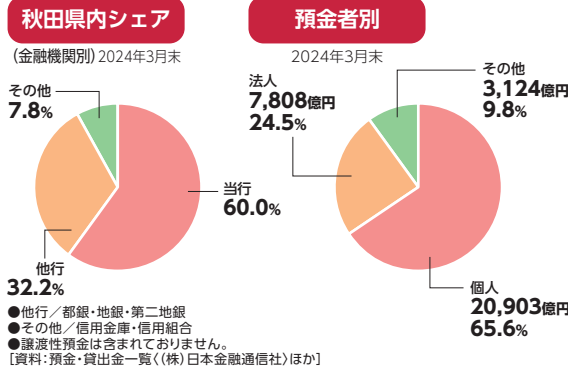
**※3「要管理債権」**

三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権(金利の減免や利息支払い、元本の返済を猶予した貸出金など)です。

# 財務ハイライト

## 預金の状況

個人預金および法人預金の増加により、前年同期末比275億円増加し、**3兆1,836億円**となりました。

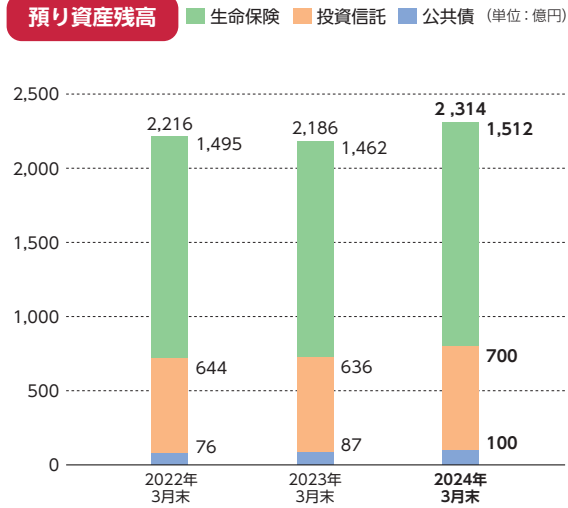


## 預り資産(\*)の状況

投資信託、生命保険および公共債の増加により、前年同期末比128億円増加し、**2,314億円**となりました。

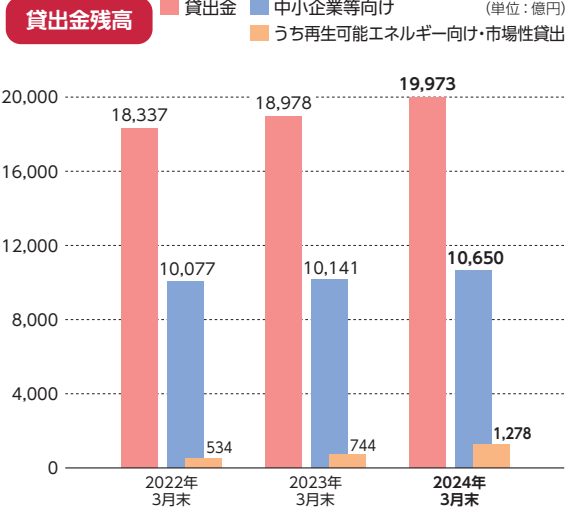
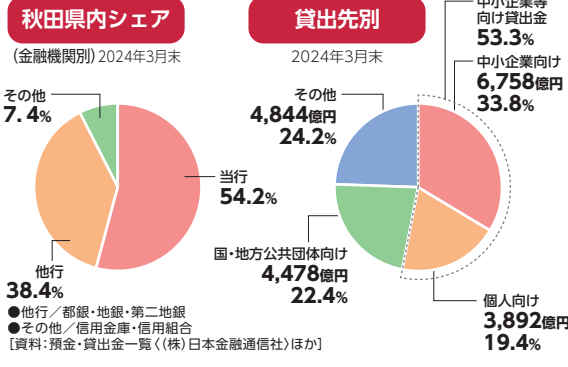
**用語解説**

※「預り資産」  
公共債、投資信託、生命保険など金融商品を総称して「預り資産」と呼んでおります。また、個人年金保険、一時払終身保険を総称して「生命保険」と呼んでおります。



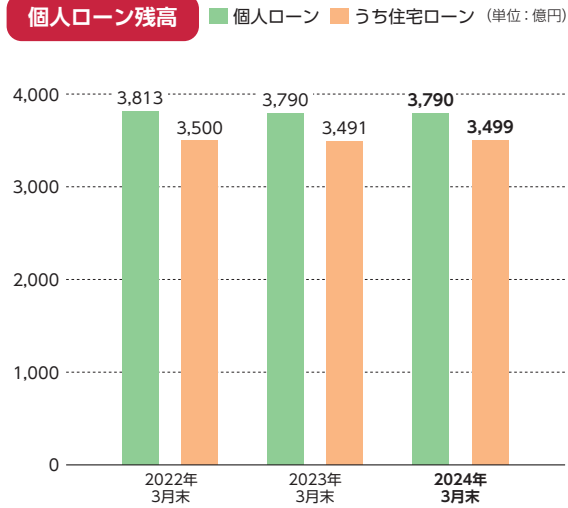
## 貸出金の状況

事業先向け貸出の増加により、前年同期末比995億円増加し、**1兆9,973億円**となりました。



## 個人ローンの状況

個人ローンは、住宅ローンは増加したものの、その他ローンが減少したことから、前年同水準の**3,790億円**となりました。



## 株式の状況

2024年3月31日現在

### ●株式数・株主数

発行可能株式総数 **68,745千株** | 株主数 **10,947名**  
 発行済株式数 **18,093千株**

### ●株式の分布状況[所有者別]



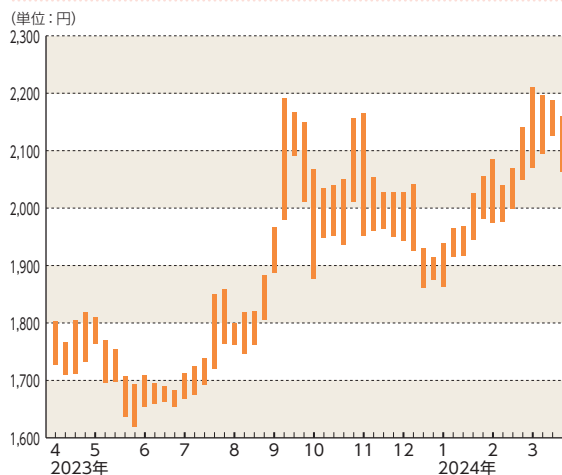
### ●大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,577,200株	8.78%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,004,200	5.59
明治安田生命保険相互会社	804,600	4.48
秋田銀行職員持株会	784,412	4.37
松井証券株式会社	492,200	2.74
日本生命保険相互会社	437,594	2.43
住友生命保険相互会社	344,700	1.92
損害保険ジャパン株式会社	329,200	1.83
三井住友海上火災保険株式会社	211,500	1.17
JP MORGAN CHASE BANK 385781	188,749	1.05

(注) 1. 持株数等は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は自己株式(145,231株)を控除して算出してあり、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株価の推移

週単位での値幅



## 株式のご案内

2024年3月31日現在

### ●事業年度

毎年4月1日～3月31日

### ●定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

### ●剰余金の配当の基準日

期末配当の基準日は3月31日、中間配当の基準日は9月30日といたします。

### ●基準日

定時株主総会については毎年3月31日を基準日といたします。その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。

### ●単元株式数

100株

### ●公告方法

電子公告とします。  
 (掲載アドレス <https://www.akita-bank.co.jp/>)  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、秋田市において発行する秋田魁新報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

### ●上場証券取引所

東京証券取引所プライム市場

### ●株主名簿管理人

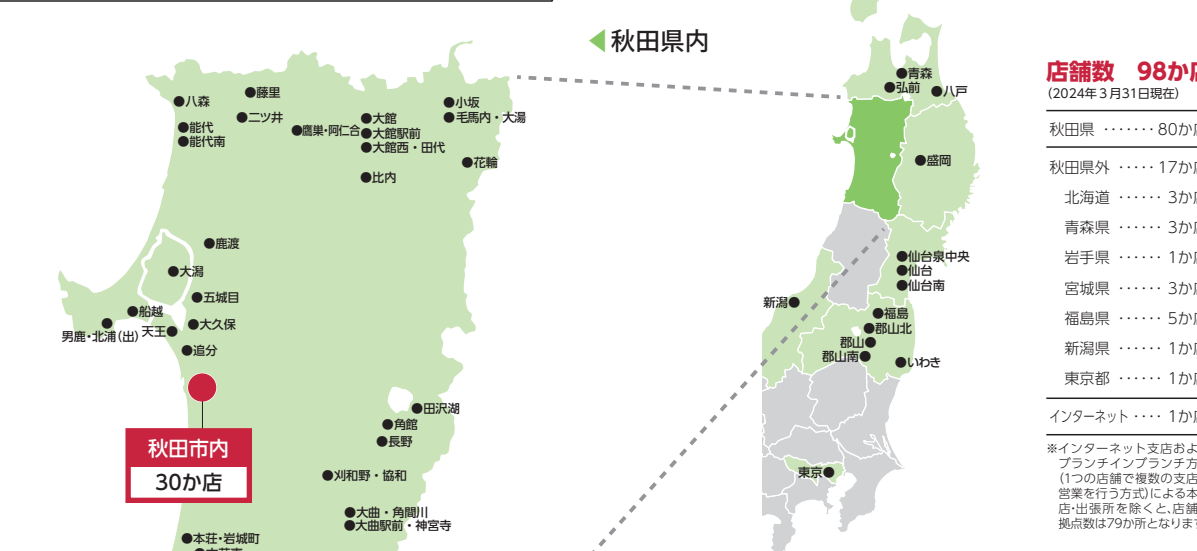
三菱UFJ信託銀行株式会社  
 【同連絡先】  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1  
 Tel. 0120-232-711 (通話料無料、平日9時～17時)

### ●特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社  
 【同連絡先】  
 日本証券代行株式会社 代理人部  
 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 Tel. 0120-707-843 (通話料無料、平日9時～17時)  
 (ご注意)  
 1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行株式会社が特別口座の口座管理機関となっておりますので、日本証券代行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお手続きできませんので、ご注意ください。  
 3. 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店にお問い合わせください。

# 店舗ネットワーク

秋田県内外、首都圏(東京ビジネスサポートセンター)および台北(台北駐在員事務所)をつなぐ当行ネットワークにより、お客さまの新たなビジネス機会の創出をサポートします。



### 店舗数 98か店

(2024年3月31日現在)

- 秋田県 …… 80か店
- 秋田県外 …… 17か店
- 北海道 …… 3か店
- 青森県 …… 3か店
- 岩手県 …… 1か店
- 宮城県 …… 3か店
- 福島県 …… 5か店
- 新潟県 …… 1か店
- 東京都 …… 1か店
- インターネット …… 1か店

※インターネット支店および  
 ブランチインプランチ方式  
 (1つの店舗で複数の支店が  
 営業を行う方式)による本支  
 店・出張所を除くと、店舗の  
 拠点数は79か所となります。

### <あきぎん>ローンプラザ/保険プラザ

秋田県内のローンプラザ/保険プラザ7か所  
 各種ローン・保険のご相談を承っています。

- 本店(本店営業部1階)
- 東中央(秋田東中央支店内)
- 能代(能代南支店内)
- 大館(大館西支店内)
- 大曲(大曲支店内)
- 横手(横手条里支店内)
- 本荘(本荘東支店内)

※本店ローンプラザ/保険プラザ内に「家づくり相談プラザ」を併設しております。



# 2024

AKITA BANK  
REPORT

## 秋田銀行

2024年6月発行 / 株式会社秋田銀行経営企画部広報室  
〒010-8655 秋田市山王三丁目2番1号 TEL018-863-1212

(e-mail) [koho@akita-bank.co.jp](mailto:koho@akita-bank.co.jp)

(URL) <https://www.akita-bank.co.jp/>

秋田銀行 公式SNS

LINE



Facebook

